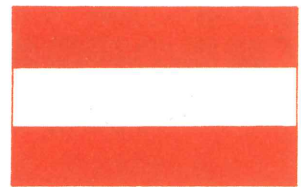


飛 騰

平成 5 年 10 月
第 7 号



海 援 隊 旗

龍馬ファンとして

龍馬研究会編集長 植 田 英

「りょうまあー」「りょうま」と二度呼ば
みた。ゾクゾクするような響きが返ってきた。

龍馬の魅力って、いったい何だろうと思って
調べてみる。調べれば調べるほど彼の魅力が拡
がっていくから不思議である。

私は彼の魅力は、龍馬という人間の持つ心の
やさしさだと思う。人の悲しみが分かり、それ
を思う心があり、そして手を差しのべる行動力。
簡単そうであるがなかなか難しい。最初の二つ
は出来てもそれを実行する行動力が伴わないの
が常である。彼はその行動力を何の恥ずかしさ
もためらいもなく実行するのである。

だからこそ、薩長同盟や大政奉還という大事
業が出来たのである。幕末という激動の時代に
誰もが出来ない大事業を、坂本龍馬という一介
の脱藩浪人が成しえたのである。

それは彼の持つ心のやさしさが人を動かし、
天を動かしたのだと考える。

さて、11月13日、14日には全国龍馬ファンの
集い全国大会が高知市で開催される。

今年のテーマは“龍馬の故郷でお会いしまし
ょう！”である。

これは、全国の龍馬ファンが一年に一度龍馬
の故郷高知で一堂に会し、それぞれが龍馬への
思いを語り合おうというイベントである。

13日には全体会議として、全国の龍馬会活動
報告、個人研究発表や基調講演、そして大懇親
会などがおこなわれる。14日は桂浜探訪ツアー
や才谷村ツアー、龍馬脱藩追跡ツアーなど楽し
いイベントが予定されている。

龍馬ファンが必ず訪れる桂浜。今までは龍馬
の銅像しかなかった桂浜に、坂本龍馬記念館が
出来てまもなく二年になる。開館当時はハード
（建物）だけでソフト（展示物）がないなどの
不評が一部にあったが、今では展示物も充実し
てきているし、年に数回行われる企画展も素晴
らしい。関係者の努力のたまものだと思う。

一龍馬ファンとして、坂本龍馬記念館が全国
の龍馬ファンのメッカとして、これからも益々
充実して行ってほしいと願うものである。



◀ 当館一階の展示

企画展

「龍馬の銅像物語」展

学芸専門員 下元正清

主催・高知県立坂本龍馬記念館
協賛・第20回龍馬まつり実行委員会
期間・平成5年11月1日～同月30日

1. はじめに

激動の幕末期を疾風の如く駆け抜け、志半ばで非業の死をとげた坂本龍馬に対して、多くの人々は尊敬と追慕の念を抱き、龍馬の生き方を自己の人生の軌範にしたいと願っている。

こうした人々は、龍馬ゆかりの地に龍馬の銅像を建設した。

建設の過程では、人々の協力や激励を得て感動したこともあったろうが、筆舌では尽しがたい苦労の方が多く、英知と情熱をもって克服した。

そして、そこには数々のドラマが生まれた。

今回の企画展では、そうしたドラマを少しでも紹介できればと願っている。

2. 高知桂浜の坂本龍馬像について

高知市桂浜を訪れる人は、必ず龍馬像の前に立つ。懐手をして、太平洋の彼方をぐっと見つめた雄姿や、りりしい中にも英知や誠実、情熱を秘めた表情には、限りない魅力がある。

この魅力に満ちた龍馬像が建立されたのは、昭和3年(1928)5月27日で、除幕式には建設関係者や多くの一般市民が参列したが、中でも人目をひいたのは、かつて龍馬と行動を共にした田中光顕伯爵や陸海軍の将兵であった。

銅像建設に携った人々は、除幕式が粛々と進行するにつれ、万感高まるの思いであったろう。

銅像建設の発起人は、当時、早稲田大学生の

入交好保、京都大学生の土居潔充、朝田盛、信清浩男の四氏で、大正15年8月7日、高知市役所で坂本先生銅像建設会を作り、それより精力的に活動したのである。

(後に大野武夫氏加わる)

彼等は自分の名利は一切求めなかった。銅像台座裏の銘板に、建設者 高知縣青年とあるのがそれを物語る。

企画展のこのコーナーでは、除幕式の様子や建設資金の県下各青年団負担金一覧表、入交氏の銅像建設日史等を、当時の珍しい写真を添えて紹介する。

3. 長崎風頭公園の坂本龍馬像について

長崎市風頭公園の山頂に、腕組みをした青年龍馬の銅像が、市街地や長崎港をへいげいするかのようになっている。

この銅像は、「龍馬の銅像は建つうで会」によって、平成元年(1989)5月21日建立されたものである。

銘板に「此の銅像は龍馬の銅像建つうで会の呼び掛けに賛同した長崎を始めとする全国の有志から寄せられ



▲高知桂浜の坂本龍馬像



▲長崎風頭公園の坂本龍馬像

た資金により建立されたものであり、未来を担う青少年達へのメッセージである」と刻まれているのが印象深い。

龍馬は長崎の亀山に社中(後に海援隊と編成替え)を約30名の同志と設立し、通商・運輸等の業務のかたわら国事に奔走した。当時の長崎は、単に異国情緒溢れる国際都市だけでなく、西南日本における政治・文化の中心地でもあった。国事に奔走し、学問や海外に志を抱く龍馬達にとって、長崎は最も魅力のある都市であり、青春を謳歌する場でもあった。

このコーナーでは、「龍馬の銅像は建つうで会」の活動と共に、龍馬ゆかりの人や土地を紹介する。

4. 京都円山公園の坂本龍馬・中岡慎太郎像について

京都円山公園に立つ坂本龍馬・中岡慎太郎像は、昭和37年(1962)5月3日、川本直水氏(当時、京都交通社長、京都高知県人会長)によって再建されたものである。

川本氏は、戦前この地にあった龍馬・慎太郎像が、太平洋戦争中に供出されて、台座のみが空しく残っているのを残念に思い、私財を投じて再建した。

川本氏はこの時、この像のミニチュアを2体作成し、1体は高知県に寄贈、現在、当館に展示されている。また他の1体は、現在、京都霊山墓地の龍馬・慎太郎の墓所に安



▲京都丸山公園の龍馬・慎太郎像

置されている。

先にも少し触れたが、戦前この地にあった龍馬・慎太郎像は、建設会の募金活動によって、昭和9年1月15日建立されたものである。

このコーナーでは、新旧銅像に併せて、龍馬ゆかりの地も紹介したい。

5. 鹿児島天保山公園の龍馬の旅碑について

鹿児島も、龍馬にとって思い出の地である。

龍馬や同志が勝海舟の江戸召還や土佐への召還命令拒否により、薩摩藩の援助で神戸を脱出して鹿児島に走った。また慶応2年1月23日夜の寺田屋の事件後、傷の療治を



▲鹿児島天保山公園の龍馬の旅碑

兼ねて新妻お龍を伴うて鹿児島に赴いた。多くの人は、これをもって我が国の新婚旅行第一号と言う。

天保山公園の大通りに面した所に建立されたこの旅碑は、お龍の姿がいかに初初しく、二人にとって至福の時であったことを物語る。

このコーナーでは、龍馬の旅碑や龍馬ゆかりの人や土地を紹介したい。

6. 結びに代えて

坂本龍馬の歩いた所には、龍馬の銅像か彼に関わる石碑等が建てられているが、現在では、歴史の証しだけでなく、町おこし村おこしの活動の一環としてなされているところもある。

それを知った龍馬は苦笑しながらも、お役に立てばそれもよからうと思っっているにちがいない。龍馬は心が広いのだから……。 (終)

〔講演記録〕

坂本龍馬と二十世紀 (6)

プリンストン大学教授 マリウス・B・ジャンセン
訳・町田宗鳳 於 '91・11・14 高知

龍馬の時代においても、「開国」推進派の中には、「開国」を世界とある一定の距離において、本当の日本の門戸を閉じておくための必要悪と見なしていた人達がありました。そして現代でも「国際化」をやかましく言う人々の中にも、全く異なった表現をとっているにしても、いま述べた過去の例と同様の傾向が無きにしても非ずといえましょう。

日本の真の国際化に向けての準備は、たしかにいろいろな方面からなされています。20年前と比較すれば、日本人の海外渡航者の数は、3倍から4倍に^{ぶく}脹れ上がって数百万人に達しています。また世界中を捜しても、日本のビジネスマンほど、国際市場に敏感な人達はいないでしょう。世界の何処に行っても、おなじみの日本製品を宣伝するネオンサインが目飛び込んで来ます。アメリカの青年達と同様、日本の青年達も海外旅行を当然のことと受け止めています。私のプリンストン大学でも、昨年度、新入生の多くが日本滞在とか日本語学習とかの経験をもっていました。そこで、私は初めて自分の日本史の講座で、日本語を理解している学生のために特別なディスカッション・グループを設けることができました。もちろん、日本でも新しい教育方法を使って外国語で話せる学生の数が増えて来ております。日米学生会議のように毎年夏に催される特別なプログラムは、相互の友情と私達が若い時には考えられなかったような相互理解を築きつつあります。

ではなぜ他の先進諸国と比べて、日本の立場

はより孤立した、理解しがたいもののように見えるのでしょうか。言うまでもなく、その一部は、二十世紀の歴史と太平洋戦争によるものでしょう。大東亜共栄圏の忌まわしい記憶が、いまだに他のアジア太平洋諸国では生々しいものとして存在し、彼らは日本の支配を恐れるあまり、その投資を必ずしも歓迎できないでいます。米国でもロックフェラーセンターとか、ペブルビーチ・ゴルフクラブといった、極めて目立つ物件の買収を含めて、日本の投資力の急激な増加が人々の不安を煽っております。その不安の原因には、人種偏見という要素が多少はあるかも知れませんが、それよりも歴史的背景がより強くあるのではないかと考えております。

しかし、何といてもそれは、戦後日本がその指針と目標をいまだ定かにし得ていないということに最大の原因があるのではないかと私は考えます。ナチスの過ちの原因をつぶさに自己点検し、ヨーロッパ経済連合に積極的に参加することによって、自分の立場を明らかにしたドイツは、まさに日本と好対照をなしています。日本の場合、南京事件のような事がほとんど教科書に取り上げられることもなく、また、新しい国際関係の中で、指導的なもしくは対等な立場を、成立させてもいないのです。

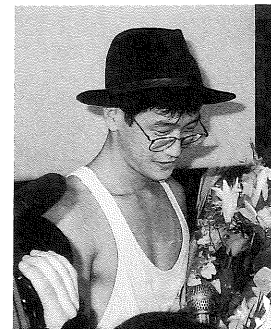
日本の国家的目標は、大半達成されました。世界の殆どどの国々と比べて、日本は豊かです。平均寿命から治安に至るまで、あらゆる分野での統計がこの事実を明確に示しています。いま望ましいのは、日本人がその視野を国内から地球全体に向けることであると思います。現在の教育システムが、果たしてこのような考え方を養成してくれているのでしょうか。現在の政治システムが、果たしてその任を満たしてくれているのでしょうか。

勿論、この問題は、日本のみならず世界各国が抱えている問題であります。龍馬にとっての問題が、国造りであったように、世界的に十九世紀は、国家建設の世紀でありました。二十世紀は、それらの国家間の秩序維持が問題になりました。冷戦も終わり、中東和平交渉が持たれる現在、多少の国際秩序が実現しつつあると言えるかもしれません。果たして、二十一世紀には、地球環境を守るために国際的協力出来るようになるのでしょうか。もし、それが実現すれば、海に向かって立つ龍馬の銅像と会館が未来の象徴的存在になることができます。

私達は、この貴重な記念館と桂浜に向かって立つ人物の理想を無駄にすることなく、大きな目標に向かって挑戦していかねばなりません。私は今日の開館を心からお祝い申し上げますとともに、日本が何時の日か、海の向こうの世界に大きく目を向けた坂本龍馬の足跡を辿ってくれることを、心から念じております。 (完)

入館状況

平成5・9・15現在(開館以来671日)



○総入館者数	300,504人
○最多入館 平成5・5・3	3,700人
○最少入館 // 5・1・11	49人
○本年度最多入館 // 5・5・3	3,700人
○本年度最少入館 // 5・1・11	49人
○本年度1日平均入館者数	520人

この日、予想より2か月早く入館者30万人を達成した。

30万人目は、西宮市の播本昌直さんで、現代風の明るい青年。

おめでとうございます。

寄託資料の紹介

伊達宗城^{むねなり}筆書軸

蚯蚓は一穴を霸し、
神龍は九天を軽んず

みみずは小さな世界の支配者に過ぎないが、龍は全世界を見渡している。



鎖国時代の日本は自分だけの世界に閉じこもっていたが、新しい日本(明治国家)は世界と共に歩むべきである。

さる8月22日、愛媛県の郷田智成、小池正義両氏より、旧宇和島藩主伊達宗城公直筆の、上記の書一幅を寄託された。

両氏は愛媛県の高校の先生(社会科)で、先に「對馬屋の銘板」と「大久保一翁の地券」を当館に寄託されている。

伊達宗城と坂本龍馬とは、対面するなどの直接的なつながりはないが、共に幕末期に活躍した有名な名人だから、お互いにその名は知っていたかも知れない。

伊達宗城は蘭学を好む開明派の藩主で、松平春嶽、島津久光、山内容堂と共に「四賢侯」といわれた。彼は山内容堂らと協調して、幕府政治終えんの幕引きと近代日本の創建に活躍した。

この書の内容は人の意表をつく面白味があり、宗城の人生観、社会観を表している。その精神は、龍馬に通じるものがある。

(文責 下元正清)



パソコン通信「あったかネット」へ アクセスしてみませんか。

学芸専門員 岡林春雄

高知県の観光情報が手軽に得られる「あったかネット」をのぞいてみましょう。このネットワークは、高知県と高知県観光情報センターが中心となって、積極的に地域の新鮮な情報を、全国に向けて発信することを目的に、平成2年発足しました。ネットの会員はIDとパスワードをもちますが、会員外の方はゲストIDで文書情報が利用できます。それでは0888-21-0323~0326へアクセスして、データベースの坂本龍馬の足跡・業績をみてみましょう。ゲストIDはatk9996~9999です。IDを入力すると、このネットワークのインフォメーションのあとメニューがでてきます。

- 番号かコマンドを入力しリターン（実行）キーを押して下さい。●
- 1. 電子メール (M) ail
- 2. あったか観光情報 (BBS) (P) ost
- 3. 観光百科辞典<データベース> (D) b
- 4. ユティリティ (U) til
- 5. あったかネット終了 (O) ff

command (help/off) >
3 を選びますと、データベースメニューがでてきますので1 を選びます。

- データベースメニュー
1. 高知県観光情報データベース kankou
- メニュー番号又はデータベース名を入力して下さい。
DATABASE main (help/end) > 1

高知県観光情報データベース検索 <page: 1/1>		
No	階層名称	コード番号
1	観光インフォメーション	/01
2	宿泊施設情報	/02
3	飲食施設情報	/03
4	買物・特産品情報	/04
5	スポーツ・レジャー施設情報	/05
6	休養・保養、文化施設情報	/06
7	自然情報	/07
8	歴史・伝統、文化財情報	/08
9	祭り・イベント情報	/09
10	観光交通情報	/10
11	土佐の旅ベストコース	/11

No. 又はコード番号を入力して下さい。
kankou search (h/e/m/l/n/b) > 8

続いて、8 歴史・伝統・文化財情報を選びます。

現在位置: 坂本龍馬 <page>		
No	階層名称	コード番号
1	龍馬関係史跡	/080201
2	龍馬関係観光施設	/080202
3	龍馬の足跡をたどるコース案内	/080203
4	資料でみる龍馬の足跡・業績	/080204
5	龍馬の身の回り品一覧	/080205
6	龍馬を取り巻いた人々一覧	/080206
7	いろは丸、夕顔丸	/080207
8	土佐海援隊、陸援隊	/080208
9	龍馬祭他、関係イベント	/080209
10	龍馬関係映画、ビデオ一覧	/080210
11	龍馬関係出版物一覧	/080211
12	龍馬を歌った歌一覧	/080212
13	龍馬クラブ一覧	/080213
14	龍馬オリジナルグッズ紹介	/080214

No. 又はコード番号を入力して下さい。
kankou search (h/e/t/m/l/n/b) > 4

4 資料で見る龍馬の足跡・業績を選びます。

現在位置: 資料でみる龍馬の足跡・業績 <page: 1/1>		
No	タイトル	情報種別
1	高知市・坂本龍馬誕生の地	画像
2	坂本龍馬の生涯	画像
3	坂本龍馬年譜	画像
4	龍馬の軌跡と日本と世界の動き	画像
5	近代日本の未来図描く・坂本龍馬	画像
6	高知県立坂本龍馬記念館 (高知市)	文書
7	龍馬の魅力	文書

No. を入力して下さい。(ゲストの方は文書情報の中から選択して下さい)
input number (h/e/t/m/n/b/1) > 7

タイトル: 龍馬の魅力
龍馬の魅力
龍馬の人間の魅力を、姉乙女へあてた手紙でみてみよう。「私をけってながくあるものとおぼしめし、やくたいにて候(とんでもないことだ)。然(しかる)二人並のよふに、中々めつたに死なふぞ死なふぞ。私が死ぬる日ハ天下大變にて、生ておいてもやくにたたず、おろんともた、ぬよふにならねバ、中々こすいひやなやつて死ハせぬ。然(と)土佐のいもほりともなんともいわれぬ居候(いろうらう(に)生れて、一人の力て天下うごかすへきハ、是又天よりする事なり。かふ申てもけつてつけあがりハせず、ますますすみかふで(も)ぐりこんで)どうの中(の)すずめ貝(しじみ)のよふに、常につちをはな(の)さきまつけ、すなをあたまたかふり申候。御安心なされかし。六かしこぞ。(文久3年6月29日付)
また、あるとき同志の検垣(ひがき)清治に町で会った龍馬は、流行の長い刀をさした検垣に「検垣さん、そんな長い刀は使(い)ない」といって自分の短い刀を示した。しばらくして会うとこんどは「もう刀や薙刀(なぎなた)の時代ではない。飛道具の時代だ」といって懐からピストルを出して見せた。3度めに会ったときは「最早や兵器弾薬の時代ではない、明日の日本のために私はこれを勉強している」といって懐から取り出したのは、オランダ語から訳した「万国公法」だった。

input number (h/c/t/m/n/b/1) > 6
(資料でみる龍馬の足跡・業績 /080204)

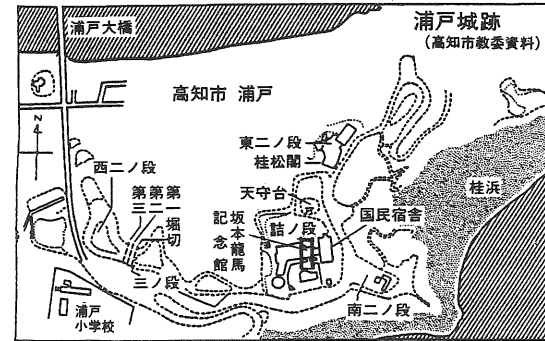
タイトル: 高知県立坂本龍馬記念館 (高知市)
高知県立坂本龍馬記念館 (高知市)
*所在地: 高知市浦戸城山830番地
*問い合わせ先: TEL 0888-41-0001 FAX 0888-41-0015
*施設案内:
〔展示室〕 坂本龍馬の生涯と人間像を、グラフィックや映像情報装置を駆使した7つのステージ展示でドラマチックに紹介します。各ステージごとに象徴的なテーマを設定、龍馬に関わった人々が舞台の主役、脇役として登場し、時代背景や、そこでの龍馬の人間像を浮き彫りにします。記念館の核となる展示・情報空間です。
〔資料観覧室〕 記念館の重要な機能の一つは、全国各地の坂本龍馬ファン、龍馬研究者の交流の場となること。エトランスロビーに続く開放的空間「資料観覧室」は、情報機器による資料の検索や観覧の場であり、また、記念館を訪れた人々が自由に語り、交流するスペースでもあります。
〔資料展示室〕 龍馬関係の図書、出版物を取集保管し、入館する方々に活用して頂くほか、複製資料なども展示し、龍馬関係の資料情報センターとしての役割を果たします。

- *開館時間: 午前9時~午後5時(最終入場は午後4時30分)
 - *休館日: 年末年始(12月26日~1月1日)
 - *入館料: 一般=350円/中学生=130円/小学生=50円(20名以上の団体は割引あり)
 - *駐車場: 普通車=60台/大型バス=4台
 - *交通: 県交通バス桂浜行き「ホテル桂松閣前」で下車。
- input number (h/e/t/m/n/b/1) > m

(h/e/t/m/n/b/1) については、
h: ヘルプ。操作方法がわからない場合表示させる。
e: 一つ前のステップに戻ります。
t: 各メニューの最初のステップに戻ります。
m: パソコンネットのメインメニューに戻ります。
n: ネクスト。1 頁後の一覧表を表示します。
b: バック。1 頁前の一覧表を表示します。
l: リスト。データベースの一覧表が表示されます。
ネットを終わりたいときは、m を押してメインメニュー画面に戻り5. あったかネット終了を選びますとアクセス開始の時刻と終了の時刻及びその間のアクセス時間が表示され、回線が切れます。
今後、当館に関する情報は、2. あったか観光情報(BBS)の中の11龍馬フォーラム又はデータベースに書き込まれることとなりますので、どうぞお気軽にアクセスしてみてください。

四国を制覇した長宗我部氏の 浦戸城の石垣発見

来年10月のオープンを目指して、現在、国民宿舎「桂浜荘」の改築工事が行われているが、その現場から浦戸城の石垣が、次々と発見され



浦戸城の石垣発見 貴重な 中近世資料

平成5年(1993)9月9日(木) 高知夕刊

浦戸城で新たな石垣発見

高知市の決定に疑問の声
総延長は南北約100m
それでも取り壊しへ

長宗我部氏の最後の居城「浦戸城」跡の発掘調査をしている高知市教委は9日までに、新たに約150mに及ぶ大規模な石垣を発見。ところが市教委は部分発掘を断念し、取り壊しを断る予定。急がれる市民から疑問の声が出ています。

この調査は国民宿舎「桂浜荘」の築山から高さ約二・五メートルの築山(約150m)に、南北約140mの石垣が発見された。この石垣は、浦戸城の石垣と見られる。そのうち、南北約100mの石垣が新たに発見された。この石垣は、浦戸城の石垣と見られる。そのうち、南北約100mの石垣が新たに発見された。

高知市の決定に疑問の声
市教委は、この石垣は、浦戸城の石垣と見られる。そのうち、南北約100mの石垣が新たに発見された。この石垣は、浦戸城の石垣と見られる。そのうち、南北約100mの石垣が新たに発見された。

「桂浜荘」国民の敷地内

高さ2.5m、総延長140m
土塁の中に2カ所
緊急調査中

高知市浦戸の国民宿舎「桂浜荘」の敷地内で、浦戸城の石垣が発見された。この石垣は、浦戸城の石垣と見られる。そのうち、南北約100mの石垣が新たに発見された。この石垣は、浦戸城の石垣と見られる。そのうち、南北約100mの石垣が新たに発見された。

浦戸城の石垣は、長宗我部氏の最後の居城「浦戸城」跡の発掘調査で発見された。この石垣は、浦戸城の石垣と見られる。そのうち、南北約100mの石垣が新たに発見された。この石垣は、浦戸城の石垣と見られる。そのうち、南北約100mの石垣が新たに発見された。



拝啓 龍馬殿

- 龍馬先生お元気ですか。今の日本の政治は龍馬先生が努力して造られた政治にもかわらず、大変腐り切っています。龍馬先生が現在この時代におられたら、どうされたでしょうか。

龍馬先生のような、何事にもとらわれない自由な意志と思いやりを忘れずに、生きていこうと思います。

(8月5日 東京都 Z・I 男性)

- はがきのイメージ展はよかったですね。91歳、81歳の元気な方々を見習いたいと思いました。

その昔、龍馬のような人の嫁になりたいものと思っておりましたが、亭主どのはごくふうの市民です。ほほほ。

(8月8日 高知県 —— 女性)

- ここへ来るのは5回目です。来る度に発見する物があるように思います。昨年行けなかった墓前祭に、今年は行きたいと思います。

前回3月に来た時に、以蔵さんの墓へ行くことが出来ました。今日もこれから行こうと思います。歴史の影に生きた人間は、死んでからも影にされるのでしょうか？

(8月12日 富山県 M・T 男性)

- 大学生の時、長い2時間半という通学時間で、電車でゆられ読みはじめたのが「龍馬がゆく」でした。あれから10年。元気がなくなると、本棚から出しては読んでいます。完全に、私の愛読書となっています。

土佐には、1人で来ました。念願でしたので、とても嬉しく思います。

—世の中の人は何とも言はば言へ

我がなす道は 我のみぞ知る—

龍馬の生き方、好きです。でも周囲ばかり気になり、自分の見えない今の自分は嫌いです。夕方まで桂浜にいて、龍馬と話して帰ります。

(8月19日 神奈川県 K・K 女性)

- 今年の5月に、1回ここへきました。その時「拝啓 龍馬殿」に手紙をかき、あとでいろいろ送ってくれ、とてもうれしかったです。

それに「ぼく、私の龍馬イメージがてん」に出すと、イメージピッタリで賞に入賞し、テレホンカードやえはがきを送っていただきました。

きのうは、萩へも行ってきました。

(8月29日 愛媛県 国貞加奈)

題字「飛騰」について

文久元年(1861)10月11日、龍馬は剣術修行のため、1か月の国暇を得て、讃岐丸亀の矢野市之丞の道場へ旅立った。この日、樋口真吉は、日記に「坂龍飛騰」と記した。

龍馬は更に国暇延長の許可をもらい、極秘裡に長州へ赴いた。彼は武市半平太の久坂玄瑞宛親書を携えていたのである。

長州萩に着いた龍馬は、久坂玄瑞を訪れて半平太の親書を手渡し、国事について会談する。

今まで一介の武者者に過ぎなかった龍馬が、この旅を機に勤王の志士へと脱皮していくのである。矢野市之丞の所へ行った目的を予め知っていた樋口真吉は、龍馬への期待をこめて「坂龍飛騰」と記したのであろう。翌2年3月、龍馬は脱藩する。(下元書)

館だより “飛騰” 第7号

平成5年(1993)10月1日発行

発行所 高知県立坂本龍馬記念館

〒781-02 高知市浦戸城山830

Tel (0888) 41-0001